

国連特別報告者と考えるPFAS問題

沖縄県は、沖縄の基地問題等の解決の必要性などを幅広く発信し、これらの問題解決に向けた国際世論の形成を図るため、有害物質と廃棄物に関する国連特別報告者である、マルコス・A・オレリャーナ氏を沖縄に招へいし、シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、PFAS問題の国際的な潮流に関する国連特別報告者の基調講演や有識者等を交えたPFAS問題に関するパネルディスカッションを行います。



〔登壇者〕
玉城デニー 沖縄県知事



〔基調講演〕
有害物質及び廃棄物に関する国連特別報告者
マルコス・A・オレリャーナ

〔登壇者〕 柴田 康行
〔登壇者〕 平良いずみ

〔総合司会・ファシリテーター〕
島袋 夏子

参加お申し込みは
こちら▼



参加無料

〔会場〕 タイムスホール
沖縄県那覇市久茂地 2-2-2 タイムスビル3階

〔お問い合わせ〕 シンポジウム開催事務局
〔受託事業者：合同会社まちづくりラボ琉宮・株式会社さびら共同事業体〕
電話：098-988-3742

〔日時〕

2024年

11 / 20 [水]

18:30~20:30
(18:00 開場)

〔主催〕

沖縄県

辺野古新基地建設問題対策課

国連特別報告者と考えるPFAS問題

参加
無料

(要事前申し込み)

〔基調講演〕

有害物質及び廃棄物に関する国連特別報告者
マルコス・A・オレリャーナ



現職：有害物質及び廃棄物に関する国連特別報告者

経歴：国際法および人権・環境法の専門家。

法律顧問として、バーゼル条約、国連人権理事会における廃棄物や化学物質の問題など、国連機関、政府、非政府組織との協働に携わる。また、米州人権裁判所、国際海洋法裁判所、国際投資紛争解決センター、世界貿易機関上訴審などの裁判にも参加している。気候変動に関するパリ協定の交渉において、ラテンアメリカ・カリブ海地域の8カ国からなる独立協会の代表を務める。また、国連気候変動枠組条約第25回締約国会議議長国の上級法律顧問も務めた。

学歴：アメリカン大学（法学博士号、国際法修士号）、カトリカ大学（法学博士号）

その他：2023年9月の玉城知事の国連訪問の際に知事と面談を行う。

〔登壇者〕

玉城デニー 沖縄県知事



上智社会福祉専門学校卒業後、中部地区老人福祉センター職員やラジオパーソナリティーを経て2002年より沖縄市議会議員（1期）、2009年より衆議院議員（4期）を務める。2018年9月の沖縄県知事選挙にて当選、2022年9月の同選挙にて再選。座右の銘「天は正論に信念と勇気を与える」

〔登壇者〕

国立環境研究所 柴田 康行



国立環境研究所 名誉研究員。環境省 環境保全功労者、日本環境化学会 功績賞等。県環境部「令和6年度有機フッ素化合物汚染源調査に係る専門家会議」、環境省「令和6年度PFASに関する総合戦略検討専門家会議」の委員のほか、昨年5月までPFOS等の国際的な規制を行うストックホルム条約の下の委員会（Global Coordination Group）委員を務めた。

〔登壇者〕

平良 いずみ



元沖縄テレビキャスター。基地問題、医療、福祉等のテーマでドキュメンタリーを制作。映画『ちむぐりさ 菜の花の沖縄日記』で初監督を務める。PFASによる汚染を追った番組『水どう宝』（2022年）は、ギャラクシー賞の優秀賞など受賞多数。今夏からGODOM 沖縄ディレクターとして海外の事例等取材し、映画を製作中。

〔総合司会・ファシリテーター〕

島袋 夏子



『琉球朝日放送編成部副部長。米軍による環境をテーマに2011年からドキュメンタリーを制作。PFASによる水源汚染をテーマにした「命の水〜映し出された沖縄の50年〜」で第23回石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞公共奉仕部門大賞。「枯れ葉剤を浴びた島2〜ドラム缶が語る終わらない戦争〜」で日本民間放送連盟賞テレビ報道部門最優秀賞など。

〔日程〕2024年11月20日（水）
〔時間〕18:30～20:30（18:00開場）
〔会場〕タイムスホール
沖縄県那覇市久茂地 2-2-2 タイムスビル3階

〔お問い合わせ〕
シンポジウム開催事務局
（受託事業者：合同会社まちづくりラボ琉宮・株式会社さびら共同事業体）
電話：098-988-3742



参加
お申し込みは
こちら



〔参加申込 URL〕
<https://forms.gle/BfTscqx38DQZMoG6>
リンク先の申込専用フォームにてお申込みください

〔主催〕 沖縄県
辺野古新基地建設問題対策課